

八雲町CS連絡だより

第1号

発行日：令和元年7月23日

発行元：八雲町コミュニティ・
スクール推進グループ



＼学校だよりでも最近よく見かけるなあ…／

しーえす

「コミュニティ・スクール」(通称：CS) ってなに？

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会制度を導入した学校」のことを言います。この学校運営協議会は保護者や地域住民などから構成されていますが、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われています。いわば、コミュニティ・スクールは、学校や保護者・地域の皆さんが共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく、「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。

子どもたちを取り巻く社会の状況は、グローバル化、情報化等により、ますます複雑になってきています。変化が激しく予測困難な未来が到来したとき、子どもたちは、これまでに私たち大人でさえも経験したことのないような様々な課題を解決しながら、生き抜いていかなければなりません。

学校が抱える課題が複雑化・多様化している現代だからこそ、保護者や地域の方々と学校が協働して、社会全体で子どもたちの学びを支える取組を、これまで以上に推進していく必要があります。

あなたのチカラが
必要です



ご存知ですか？

八雲町でも…町内4つの中学校区を基盤にして コミュニティ・スクールが導入されています！

- ◆八雲中学校区…八雲中学校、八雲小学校、山崎小学校、浜松小学校
- ◆野田生中学校区…野田生中学校、野田生小学校、山越小学校、東野小学校
- ◆落部中学校区…落部中学校、落部小学校
- ◆熊石中学校区…熊石中学校、熊石小学校

各中学校区においては、学校、保護者、地域が一体となって「目指す15歳（中学3年生）の子どもたちの姿」を共有し、各地域ならではの学習素材や地域人材を取り入れた授業や取組を実施しているほか、小中学校で統一した学習・生活のきまりを定めるなど、各中学校区において様々な活動が行われています。



この度、町内のコミュニティ・スクール運営について一層の充実と深化を図り、各中学校区における取組の交流や情報の共有を図ることを目的として、「八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会」を設置しました。

今年6月26日には、八雲町公民館にて各中学校区での取組状況の報告会を実施しました。太平洋と日本海に囲まれた広い八雲町。各地域の特色を活かした活動がそれぞれに展開されています。

みなさんの地域では、
どのような取組が進められているのでしょうか？



裏面へ

町内4中学校区でのCS取組状況について(一部抜粋)

八雲中学校区

(八雲中・八雲小・山崎小・浜松小)



【地域と連携した取組】

- 「秋の交通安全週間」に向けた取組として地域住民と子どもたちが街頭に立ち「旗の波作戦」を実施。

今年は9月20日(金)に実施予定です。地域の方の参加もお待ちしています!



【小中一貫・連携の取組】

- 小学校・中学校での学校公開・参観日において、職員の相互参観交流を行うなど、教科連携授業の取組を実施している。

【その他】

- 中学校区学校運営協議会以外にも、校区内の各学校長会議、学校運営協議会長会議を別途設け、協議を行っている。

野田生中学校区

(野田生中、野田生小、山越小、東野小)



【地域と連携した取組】

- 地域の方から畑を借りるなどの協力を得ながら、学校農園を実施している学校がある。
- 校区内それぞれの学校において、地域と協力しながら「クリーン作戦」を実施予定。
- 地域の方や中高生のボランティアを募り、野田生中学校において校区内の小学生を対象とした学習支援を、7月30日(火)に実施予定。準備を進めている。(名称：野田生塾)

簡単な計算、読み書きなど…小学生の学習フォローをお願いできる方はいませんか?



【小中一貫・連携の取組】

- 3小学校の高学年を対象に中学校教諭が出前授業を行えるよう調整している。

落部中学校区

(落部中・落部小)



【地域と連携した取組】

- 保護者や地域と学校が連携する風土があり、子どもたちの体験活動や教科における専門的な知識・技能について、地元の方から教わる機会も多い。
- 落部文化祭の合唱発表や、旗の波活動への参加に加え、今年は10月8日に「一日防災学校」を実施予定。地域の方の参加も呼び掛けている。

【小中一貫・連携の取組】

- 英語・音楽の乗り入れ授業を実施している他、9年間を見通したカリキュラムの作成・実践・検証を行う。

【その他】

- 地域に「CSとは何か」を浸透させるべく、各学校行事において冠に記載するほか、学校だよりや落部支所だよりなどでも取組記事を掲載。

熊石中学校区

(熊石中・熊石小)



【地域と連携した取組】

- 小学校中学校それぞれの総合的な学習の時間において、熊石生きがい学習塾や地元の施設を訪れての研修など、地域の方との交流活動を実施している。今後も地域連携を進め、学校の応援団を増やしたい考え。

【小中一貫・連携の取組】

- 中学生が小学生に学習支援を行う「学習ボランティア」や、小中合同の道徳研修を実施するほか、算数・数学の乗り入れ授業を実施している。

【その他】

- 小学校と中学校が中学校区内に1校ずつあるという状況は、落部中学校区と同様。平成29年度から小中一貫型CSを先行実施していた落部地区の取組例を参考に、今後の進め方を検討する。

※ここで紹介したものは取組事例の一部です。

編集後記



今回のCS連絡協議会では、各中学校区での取組状況を共有し合えたことが、各地区において大きな一歩となりました。

広域にわたる八雲町は、その地域によって文化や歴史、産業、住民の生活スタイルも大きく異なります。それぞれの地域特性に応じたCS(コミュニティ・スクール)を展開していくことが大切です。

皆さんがお住まいの地域ではどのような取組が進められているのか、学校だより等で紹介されるCSの取組状況に、今後ご注目いただきたいと思います。

【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ(八雲町教育委員会内)

〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131